

Japanese Laid-Open Utility Model Publication No. 62-56851

Date of Publication: April 8, 1987

Date of Filing: September 30, 1985

Application No. 60-149807

Applicant: Kato Hatsujo Kabushuki Kaisha

Creator: Masatoshi Fujiwara

The publication describes blocks for a continuously variable transmission belt, which is used in a drive apparatus. The drive apparatus includes superimposed wireless metal belts, each having a predetermined width. The metal blocks are continuously arranged on the entire metal belt so that they are slidable between V-shaped pulleys. The blocks each have a slide surface that contacts inclined surfaces of the V-shaped pulleys. A vertical groove is formed in the slide surface parallel to the inclined surfaces of the V-shaped pulleys.

BEST AVAILABLE COPY

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭62-56851

⑫ Int.C1.

F 16 G 5/16

識別記号

厅内整理番号

C-8312-3J

⑬ 公開 昭和62年(1987)4月8日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑭ 考案の名称 無段変速機構ベルトのブロック体

⑮ 実願 昭60-149807

⑯ 出願 昭60(1985)9月30日

⑰ 考案者 藤原正利 横浜市保土ヶ谷区岩井町51番地 加藤発条株式会社内

⑱ 出願人 加藤発条株式会社 横浜市保土ヶ谷区岩井町51番地

⑲ 代理人 弁理士 齋藤義雄

⑳ 実用新案登録請求の範囲

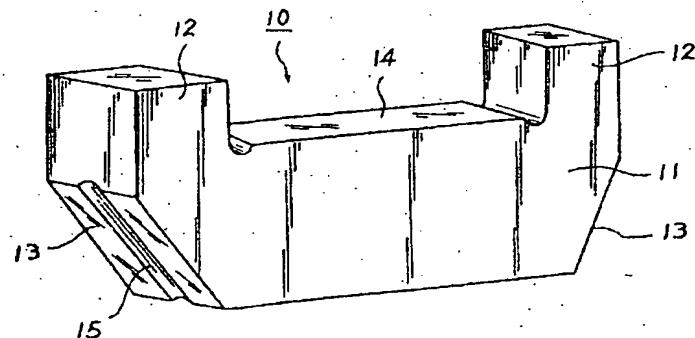
所定幅を有する無端状金属帯を積層し、前記金属帯の全長にわたって金属ブロック体を摺動自在に連設して形成した帶状ブロック体をV型ブーリー間に摺動自在に装着し、前記帶状ブロック体とV型ブーリーとの駆動力によって動力を発生伝達する駆動装置において、前記無端状金属帯に連設されるブロック体がV型ブーリーの傾斜面と接触摺動するブロック体の摺動面に縦溝を側面と平行状に形成したことを特徴とする無段変速機構ベルトのブロック体。

図面の簡単な説明

図面は本考案になる無段変速機構ベルトのブロック体を説明するもので、第1図は第一実施例による斜視図、第2図は第二実施例による斜視図、第3図は各実施例による音圧と周波数との関係図、第4図は無段変速機構を示す概念図、第5図はブロック体の摺動状態を示す概念図である。

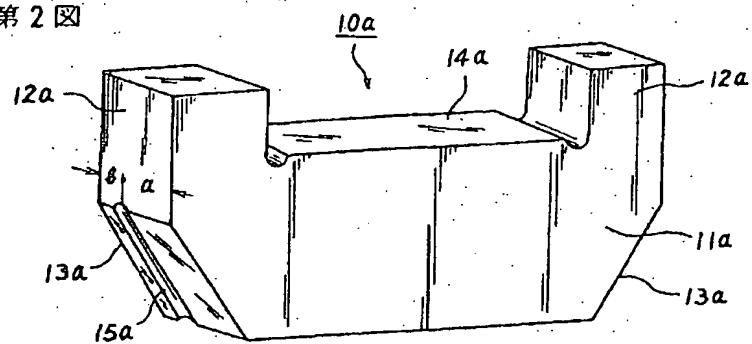
10 ……ブロック体、11 ……基体部、13 ……摺動面、15 ……縦溝、A ……無端状金属帯、B ……V型ブーリー。

第1図

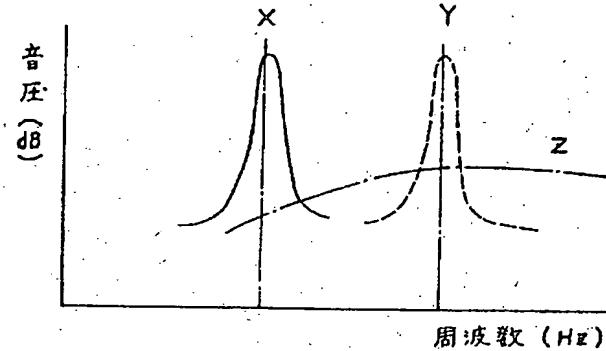


BEST AVAILABLE COPY

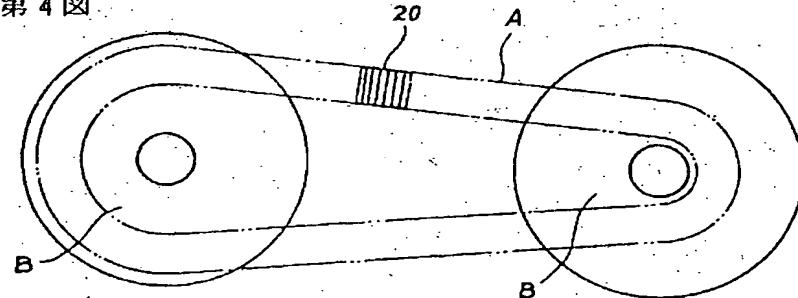
第2図



第3図



第4図



第5図

